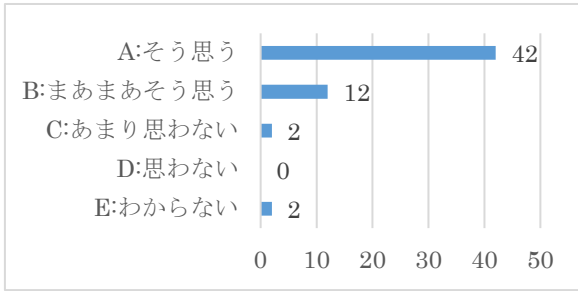


2021年度 自己評価

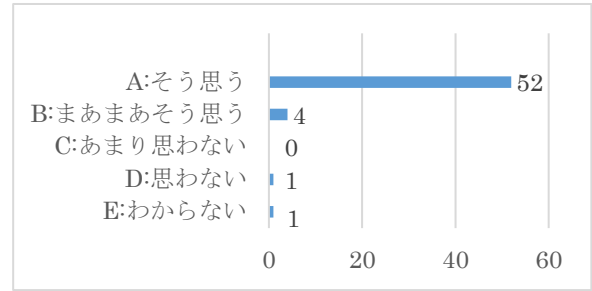
秋田幼稚園

【保護者アンケートから】 ※提出率 91%

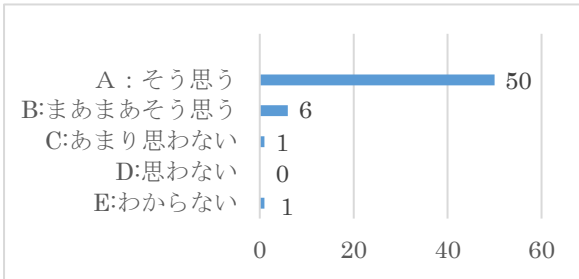
1. 教育方針や目標が子どもたちに活かされている



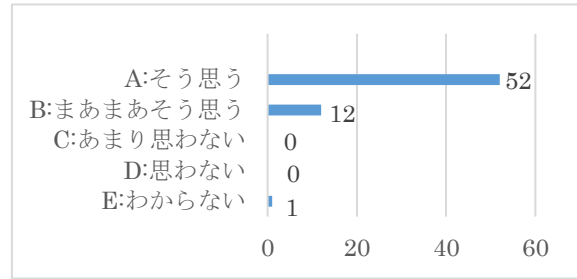
2. 一人ひとりを大切に受けとめた保育が行われている



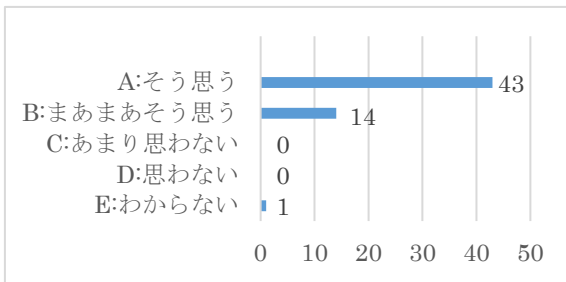
3. 子どもの発達段階や興味・関心に応じた保育が行われている



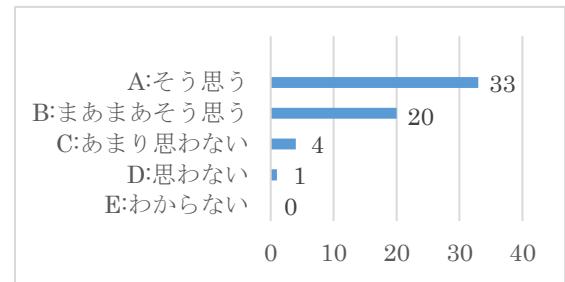
4. 子どもが園生活を楽しみ、のびのびと過ごしている



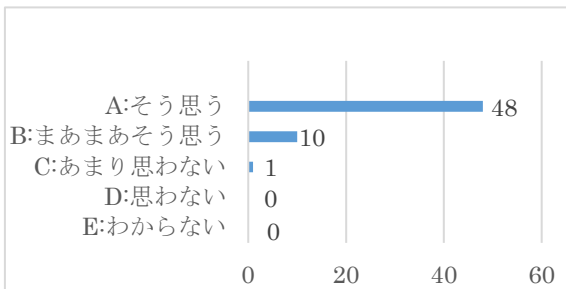
5. 子どもが多様な体験ができるよう園内や園庭の環境が整えられている



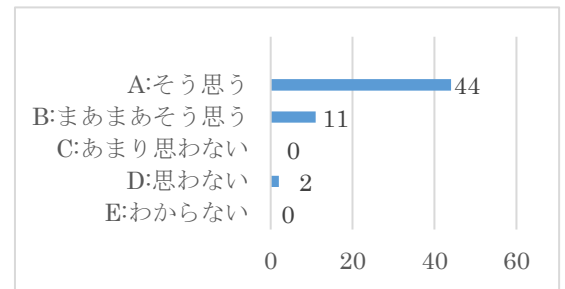
6. 子どもは、家庭で幼稚園での出来事や先生、友達の話をよくする



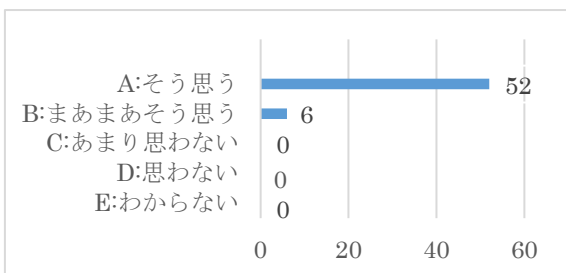
7. 教職員は、一人ひとりの子どもをよく理解し、丁寧に温かく関わっている



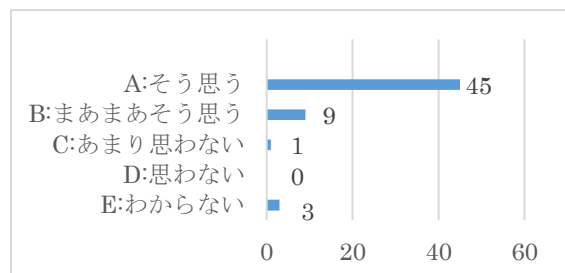
8. 教職員は、園での子どもの様子や連絡などを適切に伝えている



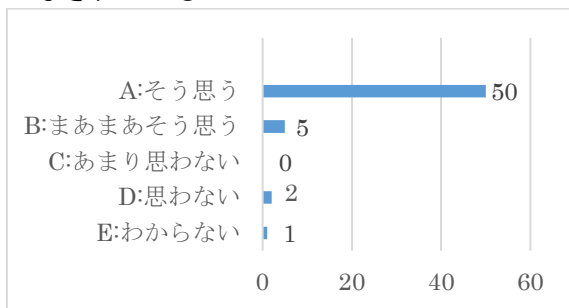
9. 教職員は、日頃から明るく笑顔で丁寧に接している



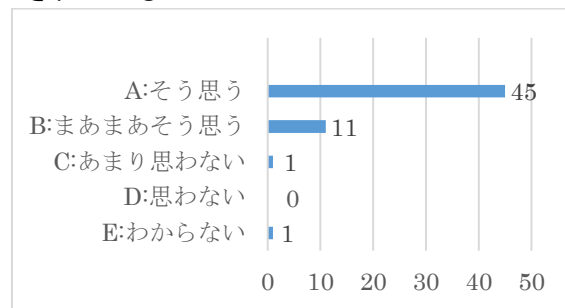
10. 園は、子どもの安全に配慮している
(避難訓練・遊具の点検・衛生管理)



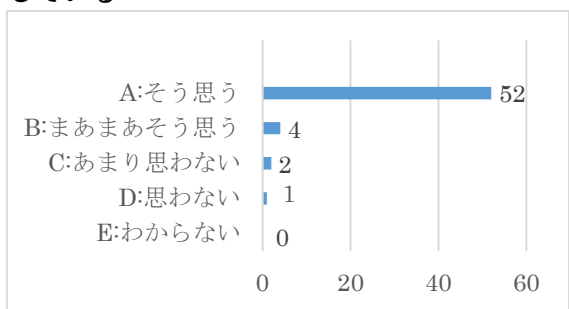
11. 子どもの発達や興味関心に応じた食育への取り組みがなされている



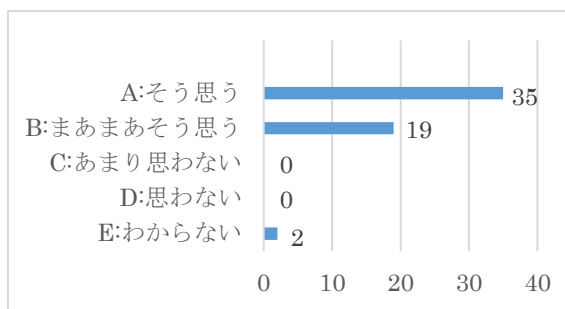
12. 園からの緊急連絡がスムーズに伝わるように工夫されている



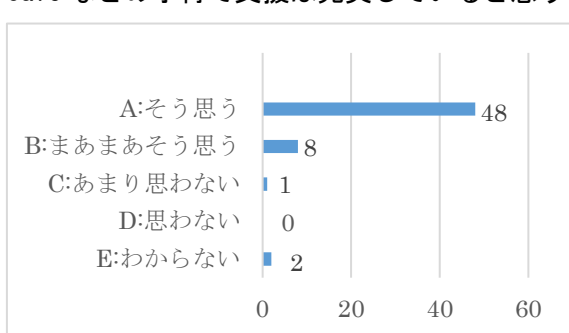
13. 園は、保護者からの相談などに対して誠実に対応している



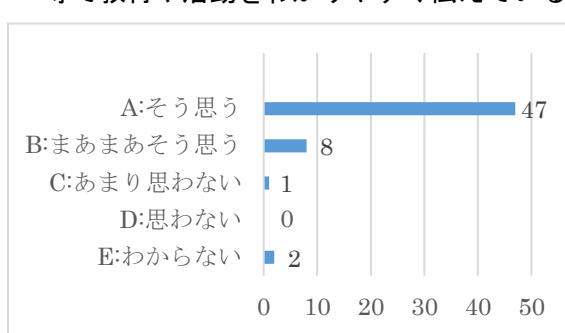
14. 行事の内容・時期・回数は適切である



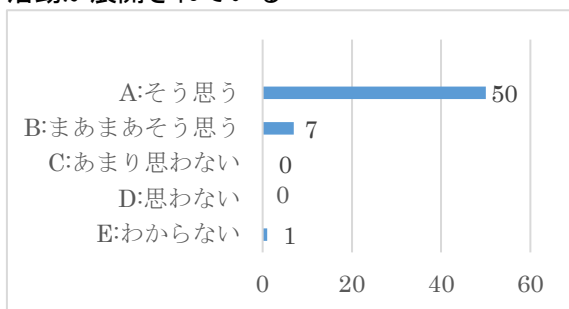
15. 未就園児に対しての園開放や預かり保育、子育てcaféなどの子育て支援は充実していると思う



16. 園の情報を園だよりやクラス便り、ホームページ等で教育や活動をわかりやすく伝えている



17. 上記を統合して、秋田幼稚園の教育方針に沿った活動が展開されている



意見・要望（抜粋）と改善策について ☆改善策

<保育>

- お食事に歌の「感謝」しての歌詞を聞いたとき、素晴らしい歌だなあと感じました。3歳で「感謝」ということばを口にすると、優しく、温かい気持ちになりました。
- 子どものやりたい事、興味のある事を学年問わず実現しようとしてくださり、感謝しています。
- いつも愛情いっぱい、質の高い保育・教育を行っていただきありがとうございます。子どもの個性をよく見ていただき、のびのびと成長していると嬉しく思います。
- 子どもだけでなく親にとっても地域にとっても癒しを与えてもらえる大切な存在だと思います。
- これから色々と保育の仕方も変わっていき手間を掛けたり、時間を掛けて作業したり、用意することは難しくな

るかと思いますが、ぜひ秋田幼稚園はそういう部分も大切にできる保育であってほしいと願います。

☆キリスト教保育の理念「見えないものに目を注ぐ」、秋田幼稚園で大切にしてきた「一人ひとりの心を育む」を軸にして、保育を行ってきました。これは認定こども園となっても変わりません。園の体制や社会の状況が変化しても、大切にすべきことを改めて確認していきたいと思います。

<教職員の対応>

○初めての園生活で、不安でしたが、先生方一人一人がとても親切にして下さって娘も安心して毎日通うことができています。

○いつも優しく笑顔で接して下さり、大変感謝しています。子どもも毎日園に通うのを楽しみにしており、充実した日々を送っています。

●今年は認定こども園のための手続きや準備などで忙しかったのか、再確認や話を聞いていなかったため信頼を損なう事が多々ありました。

☆保護者の方々、教職員間でも情報の共有をより意識していきます。不明な点があれば気軽に問い合わせいただけるような関係作りも大切にしたいと思います。

<行事>

○発表会などでは、いつも緊張してモジモジしている我が子ですが、今年の運動会では映像越しで、全く緊張せずにのびのびダンスをしている様子が見られてよかったです。かけっこも楽しそうでした。

●子どもたちが人前で発表する機会が少なくなっていますので、できればそのような機会を設けてほしい。

●運動会など天候に左右される行事について、雨天中止ではなく予備日を設定して延期という形で検討してほしい。

☆行事のモチ方は年度毎に見直しをしていきます。園生活を知っていただく貴重な機会ですので、保護者の皆様に参加しやすいように検討して参ります。運動会開催場所につきましては、屋内での開催を検討しています。

<家庭との連携>

○写真付きで園での様子を詳しく知らせてくださったり、園バスの中での子ども達のやりとりやエピソード等をお話しして下さったり、親としては外での子どもの様子を垣間見ることができ、とても嬉しく思っています。

●投薬依頼書を出したにも関わらず、忘れたことがありました。薬の種類によっては病気の治療に大きく影響するため気をつけていただきたい。

☆投薬については、医療行為でもあることから、より慎重に対応していきたいと考えています。

☆ご家庭との連絡、連携については、全体的により丁寧に行うようにします。

<安全・衛生>

○園バスも毎日消毒や点検していただいて、安全運転でありありがとうございます。また、安心安全な給食がありがたいです。

●避難訓練がどんな様子で行われているか見てみたい。

☆子どもにとっては不安な状況にもなる訓練ため、保護者の方の参観は難しいですが、今後ブログでお知らせする等、園での活動の一貫として保護者の方にもお伝えしていきたいと考えています。

☆園庭、遊具等の点検、修理や防犯については充実を図っていきます。

<子育て支援>

○子育てcaféに何度か参加させていただきましたが、様々な分野の専門家の先生方のお話を伺い、多くの気づきがありました。保護者の方々とも学びを共有でき、楽しく大変有意義なものでした。

○コロナが出てきて小さい子どもを持つお母さんはさらに孤立していることが多いと感じています。その中で子育てcaféを開設してくれて、お母さん達が話せる場を作ってくれたのがとてもよいと思いました。話すことは特に母に大事なことだと思います。コロナで仕方ないでしょうが、親同士の横のつながりも大事だと思いましたので、秋祭りでの作成物を保護者に振ってくれたのが、そういう面でもよかった。

☆来年度も子育てのヒントになったり、保護者の方々の楽しみになったりできるような内容を計画していきたいと考えています。

【教職員アンケートから（改善点を抜粋）】☆改善策

<教育方針、目標の理解>

・全教職員で確認する機会が必要。

☆年度の重点事項とともに、再確認する機会を作る。教育方針や目標を、自分の行う仕事に具体的に落とし込んでいきたい。

<運営・学年管理>

・目標に自然を愛する心をもった子どもとあるが、日常の自然の不思議さに気付かせる工夫がまだまだできると思う。

・幼児の実態に則して臨機応変に目標を立て直す必要がある。

・会議の効率化（学びの確保も含め）来年度に向け検討したい。

・伝達や相談等が不足している。

☆会議での話し合いを、実質的効率的なものにしていく。資料の事前配布等、計画的に準備していく。

☆全教職員で全園児を育ててきた経緯がある。そのために情報の共有が重要であることを再確認していきたい。また、情報を全体で共有しやすい方法について検討が必要。

<保育について>

・状況に応じて職員同士が立場を超えて協力し合えることはとても素敵なことだと思う。

・子どもの情報やちょっとした変化なども教師間で伝え合い、全教師で子どもを見ることができておりよい体制だと感じる。

☆保育については教師間での協力体制がとれている。記録等を介しての情報については、曖昧にせずを確認することを徹底したい。

<行事について>

・行事の回数、内容は見直しが必要。

・学年のたてのつながり、計画が不十分。

☆行事は日常の遊び、保育の延長上にあるもの。生活とのつながり、学年のつながりをもたせた年間計画を立てていきたい。

<子育て支援について>

・園開放の回数の検討必要。その分内容の充実を図りたい。園の魅力を伝える、安心して入園を考えられるような活動を意識したい。

・専門機関との連携の取りづらさが毎年課題である。

☆園の良さを知ってもらう機会をどのように設定するか、検討していく。

☆今年度、様々な医療、教育の専門機関との連携を行ってきた。進め方を迷った時にこそコーディネーターやリーダーに相談することで、チームで連携を進められるはずである。報告、連絡、相談は躊躇せずに行うこと。

<園内研修>

☆今年度は工夫しながら学びあいの時間の確保を行えた。外部での研究会、研修会等での学びを全体に伝達する機会も大切にしたい。

<情報の管理・発信>

☆教職員間での回覧物など、職員室内での管理も強化したい。

☆ホームページやブログが園での取り組みの発信源となるため、充実を図りたい。

【学校関係者評価（抜粋）】

<運営委員からの意見>

・さまざまな規制の中で工夫や配慮を求められる中、子どもも保護者も職員も安全安心に過ごすための働きが随所でなされたい。

・保育教育が良い形で評価されていることは秋田幼稚園の強みである。

・保護者の要望全てを叶えるのは難しいが、理解してもらえるための努力は必要である。今まで以上に細やかな配慮と伝達が必要。

・運営管理について、各種会議の持ち方が課題となっている。適切な課題を適切な時間で効率よく行うために、議題や資料の事前通知をする、内容を十分把握して臨むといったことで時間短縮ができるのではないか。

【総評】

・来年度、認定こども園として新たにスタートするが、これまで大切にしてきたことを継続するために、全教職員で再確認と理解の徹底を図る必要がある。

・保育に関しては、これまで行ってきたことを踏襲ありきでは対応しきれない状況である。保育者として個人的にもチームでも研鑽を積んでいきたい。また、より良い保育、より良い環境作りのために必要と思われる情報や学びについても共有しながら実践につなげていきたい。

・園と保護者、教職員間それぞれで情報の共有が課題となって見えてきた。保護者に対しては、迅速で細やかな情報の発信を心がけたい。また、連絡事項など、どの職員であっても取り次げるよう一人ひとりが意識し、声に出して確認したいところである。誰かがやる、ではなく当事者意識をもち、複数の目で園児一人ひとり、園生活全体を丁寧に見ていく教職員集団でありたい。